



連携事例27

R5.8 更新

市の花バラをシンボルとした街づくり ～バラの植栽活動とバラ祭りを通して～



バラの植栽活動の様子（八千代緑が丘駅北口バラ園）

■協働パートナーの種別

NPO

企業

行政

教育

地縁

■事業運営団体

・八千代花と緑の応援団

■協働パートナー

・緑が丘ローズハーツふれあいフェスタ、京成バラ園芸株式会社、イオンモール八千代緑が丘店、東葉高速鉄道株式会社、大東建託株式会社、エドワーズ株式会社、緑が丘自治会連合会、八千代市、八千代市教育委員会、八千代市地域振興財団、八千代商工会議所、東京動物専門学校、その他学校等、緑が丘長寿会

■事業費

八千代花と緑の応援団 180 万円

緑が丘ローズハーツふれあいフェスタ 120 万円

■資金調達手段

八千代市市民活動団体支援金、各種助成金・協賛金

事業概要

1. 八千代市の花バラを、八千代緑が丘駅前広場、八千代バラ街道を始めとした各拠点に植栽し、バラいっぱい街づくりを行う。
2. 八千代緑が丘駅でバラをシンボルとしたイベント・ライトアップ・こどもバラ絵画展・スタンプラリーを企画・実行する。
3. これらの活動を通し、八千代緑が丘駅周辺に職・住の拠点を持つ人同士が、市の花「バラ」をシンボルにして交流の場を作り、ふれあいの輪（和）を拡げて、親睦を深めるとともに、明るく、健康な街創りを目指す。

協働までの経緯

東葉高速鉄道が開通し、都心へのアクセスがよいこともあり、八千代緑が丘駅周辺には、高層マンションや戸建てが建ち並び、2万人が住む緑豊かな活気あるニュータウンに変貌しております。

八千代緑が丘駅は、1996年に開業し、1997年に市の花がバラと制定されました。2001年に、八千代花と緑の応援団が設立されて、八千代緑が丘駅前にバラが植栽されましたが、有志だけの取り組みであり、バラの育成のために不可欠な水道がなかったため、管理ができず、数年後にほとんど枯れてしまいました。

また、2004年に、八千代緑が丘駅前で、「バラを愛でて音楽とワインを」というモットーで、緑が丘ローズハーツふれあいフェスタが始まりましたが、バラが枯れてしまったことで、当初の位置づけを失ってしまいました。

このことを憂慮した地元有志が、2018年に、八千代緑が丘駅前広場のバラを復活させようと、地元自治会にも働きかけ八千代花と緑の応援団を活性化させ、バラの植栽活動が開始されました。

主な事業内容(年間スケジュール等)

【八千代花と緑の応援団】

- ① 八千代緑が丘駅北口広場 バラ植栽・管理活動 毎月第3土曜日（全体活動）、毎週2回（水遣り）
- ② 八千代バラ街道 バラ植栽・管理活動 毎週2回（水遣り）
- ③ 村上駅前広場 バラ植栽・管理活動 毎月第4土曜日（全体活動）、毎週2回（水遣り）

④ 新木戸小学校バラ園 毎週2回（水遣り）

【緑が丘ローズハーツふれあいフェスタ】

① イベント（緑が丘ローズハーツふれあいフェスタ）年1回（5月末）

② 八千代緑が丘駅前北口バラ広場ライトアップ 年2回（春、秋）

③ こどもバラ絵画展 年1回（春）

④ スタンプラリー 年1回（秋）

① 主な協働パートナーとの役割分担

1. 八千代花と緑の応援団

2. 緑が丘ローズハーツふれあいフェスタ実行委員会

3. 京成バラ園芸

バラ植栽技術の指導を行う。

4. イオンモール八千代緑が丘店

イベントの設備・用具貸し出しや、場所の提供

5. 東葉高速鉄道

バラのイベントを後援し、コラボレーションとして、乗客の案内や場所の提供を行います。また、八千代バラ街道の本社前のバラの水遣りを週2回行っています。

6. 地元企業・商店との連携

大東建託株式会社とエドワーズ株式会社は、地元八千代市緑が丘の企業として、社員がボランティアで参加しています。なお、エドワーズ株式会社は、八千代花と緑の応援団と協賛金に関する協定書を結び、八千代バラ街道の花壇の造成に寄付をしました。イベントでは、100社を超える地元企業・商店より協賛をして頂いています。

7. 地元自治会

ボランティア活動としての参加、協賛金の提供、用具の貸し出しなどを行います。

8. 行政（八千代市、八千代市教育委員会）

八千代市：占用許可や、水道・電気などの設備工事、広報、バラの苗の配布、イベントの後援、市民活動団体支援金制度による支援金を交付されています。イベント開催にあたり、八千代市の使用許可を得ています。

八千代市教育委員会：イベントの後援等を行います。

9. 八千代市地域振興財団

バラ植栽の助成、八千代バラ街道の八千代市への占用許

10. 八千代商工会議所

地域活性化の観点からイベントの後援をします。またテントなどの貸し出しをします。

11. その他学校等

地元小・中・高校がイベントへ出演・参加します。

12. 緑が丘長寿会

八千代花と緑の団員や緑が丘ローズハーツふれあいフェスタ実行委員会の委員として活躍する他、バラの植栽やイベントへのボランティア参加をしています。

② 今後力を入れていきたいこと

1. バラの植栽活動

これをベースとして、八千代バラ街道のバラ植栽500本は2023年に完成、村上駅前ロータリーのバラ植栽420本は2022年に着手し2024年度に完成させ、合計1,200本のバラ植栽完了を目指します。

2. イベント

緑が丘ローズハーツふれあいフェスタが、より自立自走できるよう、地元17自治会から実行委員会に参加し、次回・次々回への開催に向け、より充実した盛大なイベント開催を目指します。

3. 将来のビジョン

市の花バラをシンボルとして、八千代市内外からお客様が訪れるような、立派な活動にしたいと考えます。

八千代市民が、昨年20万人となり、バラの植栽20万本を目指し、市内全域でバラによる街づくりの



コラボのコツ!!

★コツ1

みんなで夢を育てよう

みんなで育てた市の花バラを愛でてお祭りを楽しむ夢のある大きな共通の目標を掲げ、みんながそれに向かう。

★コツ2

一人一人が街づくりの主役

誰かが作る街ではなく、自分たちが作る街。世代を越え、男女を越えて、熱い人を集め、多くの人を巻き込む。

★コツ3

三世代が暮らせる明るい街づくり住んでみたい街、住み続けたい街、選ばれる街を目指す。



協働事業によって生まれた成果

1. バラの植栽活動

八千代緑が丘駅北口ロータリー 300本（2023年現在）

八千代バラ街道（八千代緑が丘駅～京成バラ園） 500本（2023年度末まで）

村上駅前ロータリー 420本（2024年度末）

新木戸小学校 55本（2023年現在）

ボランティアの参加者も87名を超え、地域・企業・行政を巻き込んでの活動となっています。年間（2023年度）延べ2,000名の活動を見込んでいます。

2. イベント

2023年は、土曜日・日曜日とも過去最大の来客数（土曜日は2,000名、日曜日は5,000名、推定）

でした。また協賛先も120社を超え、協力員も延べ250名となり、地域の街づくりに貢献するイベントとなりました。

推進リード役となります。

都心から気軽に訪れ、自然に触れあえる、身近な観光都市を目指します。

6つの駅前広場ごとにバラを植栽し、京成バラ園を中核とし、それぞれの駅前広場で地元商店街とコラボして、バラ祭りを開催し、市民はもちろん市の内外から多くの方に訪れて頂くことが夢です。



協働事例プロフィール

【活動開始年】2001年3月

【活動のPR 手法】HP <https://hana-to-midori-no-ouendan.jimdosite.com>

その他、イベント紹介動画(<https://youtu.be/nCZBwwmTzQU>)、花と緑の応援団会報2号、3回あり。

【この事業で活用した補助金】八千代市市民活動団体支援金、公益信託八千代まちづくり緑が丘基金、公益財団法人コメリ緑育成財団助成金、一般財団法人セブン-イレブン記念財団環境市民活動助成金他

【表彰歴・マスコミ掲載歴等】東京新聞(令和2年10月)、北総よみうり(令和3年10月)

【問い合わせ先】担当者:濱野俊輔 電話番号:070-4131-8134 メール:shunsuke1945920@yahoo.co.jp